

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： 発達みかんの木あそびの森

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	7	1	0	活動内容によって、エリアを移動できるようになっている 各エリアで担当を決め、適切な人数をしっかりと見守ることができている 広々とスペースを走り回ることができている	37	1	0	1	広くて良い		
	2 職員の適切な配置	3	5	0	送迎にでてしまうとスタッフの人数が少ない時がある 児童のキャンセルが重なると、スタッフの人数が多くなってしまふ場合がある ホワイトボードにスタッフのエリアの配置がわかるようにしている	30	2	0	7	職員によってばらつきがある	・決められた人員数は配置されているがイベントや利用児童によってはスタッフ数をもっといれればと思うことはあるため、イベントによって 適切な人員配置に努めていきたい。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	4	1	バリアフリーとはいいがたい 遊具の定期検査が必要 視覚化はできているが、バリアフリー化が出来ていない 床マットが平坦になればと思う 玄関が狭く段差もある 静エリアの学習など、集中しにくい環境だと感じることがある	30	1	0	8	エリアによって分かれていて、活動しやすい わかりやすい	・段差などもあるし、特定の子には動きにくいと思う。→が逆にそれが身体機能の向上にも繋がっていると考える。・段差などは、ジョイントマットを敷き、つまづきやけがの防止に努めている。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	7	1	0	活動内容により、エリアが分けられている カームエリア(一人テントなど)の充実があると良い 静と動で活動を分け、それぞれのスペースが清潔かつ機能的に保たれている 毎日・清掃を行い、月に一度遊具が安全かどうか点検している	32	2	0	5			
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	5	1	2	随時情報を共有し合い、協力している。何かあれば直ちに改善・実行・計画できる体制が整っていると感じる。 支援会議の中などで、参画している 個人での目標設定と振り返りまでできているが、職員全体ではできていない。							・日々のワークのふり返りと月に一度事業所内で支援会議を行っている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2	4	1	第三者の評価は行ってないが、指摘があれば改善している。							・行ってない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	2	1	事業所内では行っていないが、外部の研修には参加している。 色々な情報を知りたいため、事業所内で研修会を行ってほしい。 コロナで研修会が少なくなっている。							・運営部から研修の案内が送られてきている。しかしコロナウイルスの影響があり、ここ最近では事業所内で研修したのみ。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	1	0	内容まで把握できていない。 きめ細やかに課題を分析し、保護者のニーズを十分に考慮したうえで、日々の計画に取り入れることができていると感じる。	36	1	0	0	最初以外の計画のための面談は特に行われていない	・保護者の意見を取り入れつつ行っている。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	8	0	0		35	1	0	1	初回はあったがその後のすり合わせはない	・より細やかな支援ができるよう、保護者の方とのすり合わせを、今後もっと行っていきたい。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成		8	0	0							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	7	1	0	計画書をもとに、日々のスケジュールやワークを取り入れている。 全員が把握しているかはわからない。	35	1	0	1	初回はあったがその後のすり合わせはない	・より細やかな支援ができるよう、保護者の方とのすり合わせを、今後もっと行っていきたい。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	5	2	1	職員間で意見を出し合って、活動を制作している。						
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	1	0	職員間で意見を出し合って、活動を制作している。 計画を立てる人が、固定化しないように代わっている。季節に応じた活動を取り入れている。	35	0	0	2	色々活動内容を変えてもらっている	・その時の困り感等に応じて、担当スタッフが内容を変えて行っている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	0	1	平日・休日・長期休暇に応じて、イベント・スケジュールの立案を行っている。						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	7	1	0	毎日ミーティングを行っている。						
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	2	0	次の日の支援前のミーティングで振り返りを行っている。 その時気になった事は、合間を見つけて共有している。支援書を見て共有できるが、確認をすぐにできないこともある。						
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8	0	0	日々の記録は取れている。 スケジュールに対し、関わったスタッフが支援書に記入し、共有している。 振り返りや懸賞の時間の確保が難しい。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8	0	0							
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6	2	0							
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				該当なし						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				該当なし						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	5	3	1	十分とは言えないが、情報共有を行っている。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	1	1	十分とはいえない。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	3	3							
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	2	5	以前は児童館を利用していたが、コロナの関係で行えていない。	10	4	3	18		
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	0	7							
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	8	0	0	契約時に行っている。	36	1	0	0		・利用契約時に行っている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	2	0		36	1	0	1	初回はあったがその後はない	・都度の説明を今後心がけていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	3	1	2		16	7	2	12	定期的にもあるが、利用毎に気になる所は相談できている	・日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	8	0	0	送迎時や電話等で伝えている。	34	3	0	0	状況を説明してくれる時もあるが、分からない時もある こちらから質問してはじめて説明があるときもある	・ノート・LINE等で伝えるようにはしているが、伝達不足になっていることもあるので、更にまめに伝えていくように意識したい。
	5	7	1	0	助言や支援など、対応したことをスタッフと共有している。 生活面や学校面など、保護者の子育ての悩みについて随時助言と支援を行い、悩みに応じた情報提供を行うことができていると感じる。	30	5	1	1		・日常における子育てでの困りごとなどの相談があった時には、アイデア等を伝えさせてもらっている。
	6	1	2	4		3	6	8	19	必要性を感じない 特に求めてはいない	・以前は勉強会開催時に保護者同士の交流をもてる時間がありましたが、コロナウィルスの影響等もあり現在勉強会の予定が未定となっている。
	7	8	0	0	文書やメールを活用している。 情報共有・連絡伝達が不十分なときがあったが、対策に向けて話し合った。	30	3	0	6	連絡が遅い時がある	・迅速な対応ができるよう、スタッフ間での情報共有も迅速かつ丁寧におこなうようにしていく。
	8	8	0	0	ジグやカードを用意し、使用できるような環境設定をしている。 子どもさんに応じて、カードを使用したり、紙に書いたりしてわかりやすいように伝達している。	34	1	0	0	連絡が遅い時がある 気付いたことでも当日に連絡がなく、保護者からの連絡でわかることがある	・LINE・電話等を活用し、迅速に情報を伝達できるようにしていく。
	9	4	1	2	会報は発行していないが、個別で伝えている。	36	4	1	5	LINEお知らせはあるが、会報やホームページはない 必要なことはすぐ連絡してくれる	・Facebookの更新は行っていないため、全体への発信は出来ていませんが、その分個別のLINEで活動の様子が発信できればと思う。自己評価についてはホームページに載せている。
	10	4	2	2	注意をしているが、出来ていない時がある。 袋に入れた人・送迎スタッフ等が二重・三重に確認を行うようにする。	33	1	0	2	他の子のプリントが入っていたことがある	・二重チェック・三重チェックを行い、入れ間違いがないか確認を行うようにしている。
非常時等の対応	1	4	3	0	防犯マニュアルが周知できていない。	30	4	0	2	コロナ対策はあるが、防犯マニュアル等は特はない	・マニュアルはあるが周知はできていないところもあるため、周知に努める。
	2	8	0	0	避難訓練・消火訓練を行っている。	34	1	0	1		・年に数回避難訓練を行っている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（ 続き）	3	5	2	0	コロナ対策により、リモートでの研修を行うなど工夫している。						
	4	3	2	0							
	5	6	0	0							
	6	8	0	0	文書で観覧し、読んだスタッフは印鑑を押印し、共有できている。 スタッフ間で回覧し、一人一人が心がけて対応できるように工夫している。また、情報をオープンにして、改善に結びつけている。						